

# 年頭ごあいさつ 今こそ明るい未来へ!



舞鶴商工会議所  
会 頭 小 西 剛

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、平成29年の新春をご家族そろってお健やかに迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

このたび、皆様のご信任をいただき、舞鶴商工会議所の会頭に就任させていただくことになりました。

新しい年を迎えるにあたり、私は、企業、地域、さらには広く社会全体から多くの支持と信頼がいただける商工会議所を目指して、役員・議員・会員の皆さんと一体となって、全力で取り組んでいく決意を新たにしています。

地域最大の総合経済団体である商工会議所の役割は、会員企業はもとより地域全体の声に常に耳を傾け、地域に密着し柔軟な調整力をもった地域唯一の総合経済団体として機能することであり、いかなる状況にあろうとも、未来に繋がる活路を見出して、地域全体の振興発展を図っていくことであると認識しています。

こうしたことから、国、府、市などの行政機関等に対しましては、友好的な関わりを保ちながら、その関わりの中で、商工会議所本来の役割である、行政や企業、市民の橋渡しをすることで、持続可能な経済・社会システムを築きあげ、社会全体からより多くの支持と信頼がいただけるようになることが大切です。

特に、海上自衛隊と海上保安庁の基地を抱える私たちの街にとって、この二つは無くてはならない大きな存在であり、これからも共存共栄の精神を貫き、お互いのより良きパートナーとして、更なる友好・信頼関係を深めてまいります。

あらためて、私たちの住む京都府北部地域の状況を見ると、このエリア（地域）は、国（観光庁）に認定された海の京都観光圏として年間1,000万人の観光客が訪れる「広域観光の拠点」であり、日本海側では富山市に次いで製造品出荷額が年間6,400億円規模を誇る「豊かな産業基盤」を有する日本海側の重要地域であります。

30年後、50年後の日本の国益を見据えた「日本海側国土軸」の形成における、この地域の重要性・必要性は、実に大きいものがあります。

今、私たちのまちには、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」があります。

この総合戦略は、4年前に、舞鶴商工会議所が“夢の広がる舞鶴に”をキーワードに「政策提言」として発信した、「経済界の声」を大きく反映していただいております。舞鶴を「元気なまち」「夢あるまち」にするための、将に、この町に住むみんなの「希望」であり、実現可能な「みらい戦略」です。

先を見通す、しっかりとした目をもって、政経一体となり“オール舞鶴”の体制で、いかなる状況にあろうとも、明るい未来に繋がる活路を見出して、したたかに地域全体の振興発展を図っていきたく思います。

どうか、本年も、舞鶴商工会議所に対しまして、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、皆様方の益々のご健勝・ご多幸を心からお祈りいたしますと共に、今年一年が幸多からんことを祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。